資料３－５

自動車関連情報の利活用に関する将来ビジョン検討会 プレゼンテーション資料

一 社 ）日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会

平成26年3月20日

Ⅰ．自販連が取扱う情報

1．自販連とは

〇　一般社団法人日本自動車販売協会連合会（以下、自販連）は、自動車の健全な普及と流通・環境面等の諸問題の改善、整備を図る目的を達成するために設立された自動車ディーラーの全国組織であります。（会員数：約1,600社）

〇　自販連は、わが国基幹産業である自動車産業の一翼を担う販売業界にあって、自動車の健全な普及と流通・環境面等の諸問題の改善を図り、高度な車社会を目指して積極的な活動を行っております。

〇　こうした活動の一環として、

①　自動車の流通事情に関する調査及び各種統計情報の提供
②　自動車の登録等に係る代行事業

等に取り組んでいます。

2．各種統計情報の提供

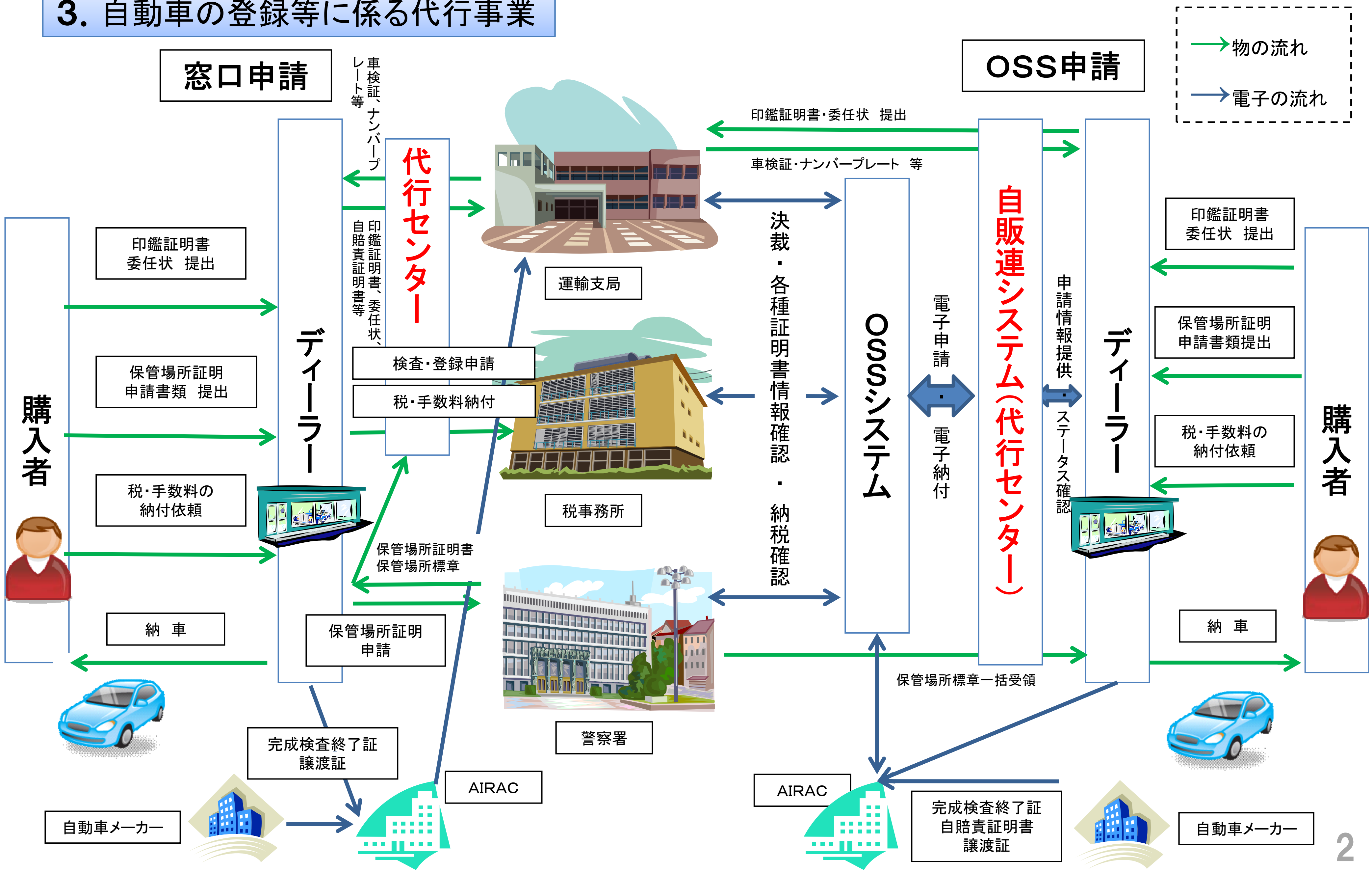
〇　新車販売台数、乗用車車名別順位、中古車登録台数の発表

〇　新車登録情報（都道府県別、メーカー別、車名別、クラス別、車種別　、4WD、ハイブリッド、EV etc.）

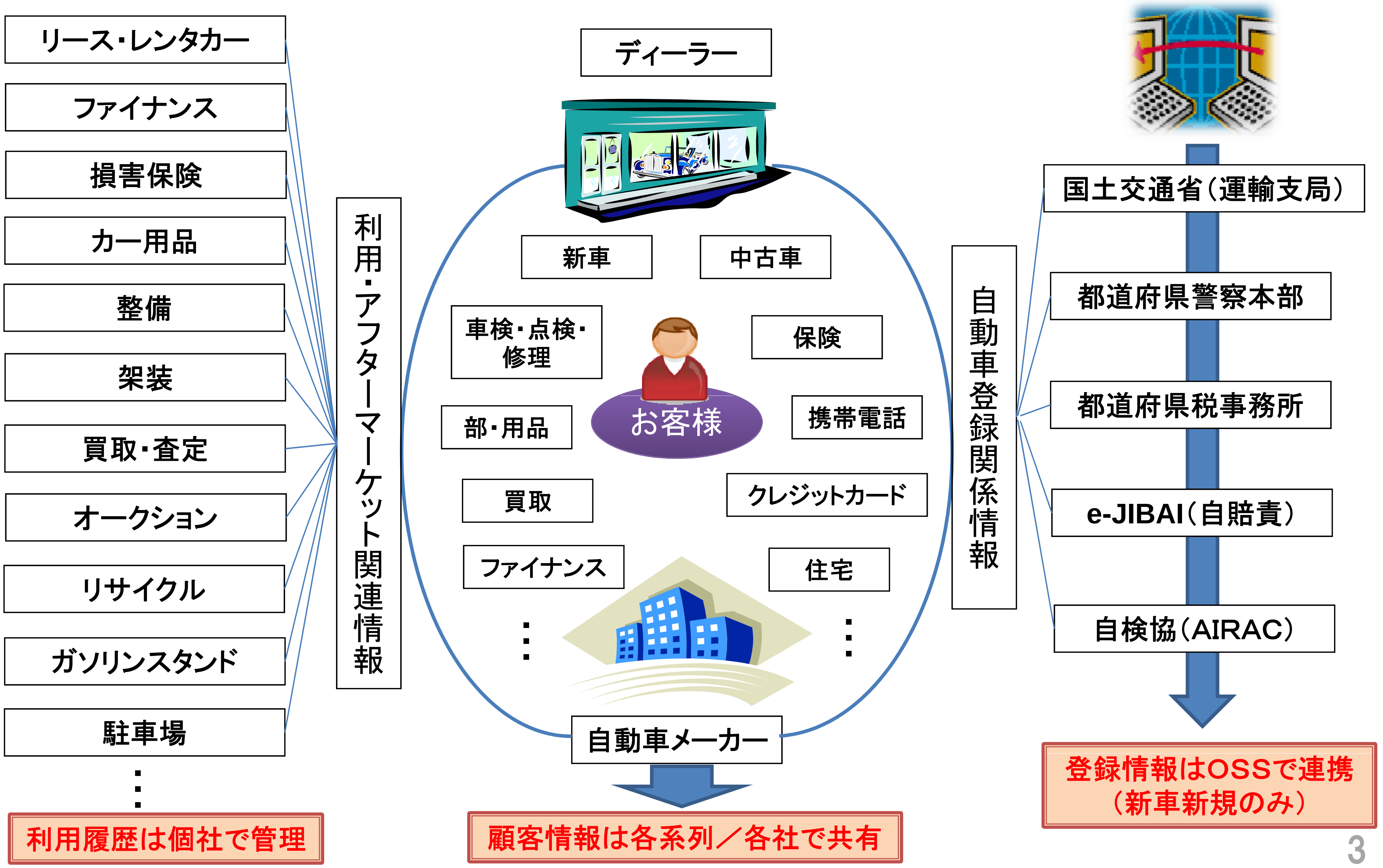
〇　中古車登録情報（都道府県別、メーカー別、クラス別、車種別、末梢（永久、一時、輸出） etc.）

Ⅰ．自販連が取扱う情報

3. 自動車の登録等に係る代行事業



Ⅱ．自動車業界相関図



リース・レンタカー
ファイナンス
損害保険
カー用品
整備
架装
買取・査定
オークション
リサイクル
ガソリンスタンド
駐車場
：
利用履歴は個社で管理
利用・アフターマーケット関連情報
ディーラー
新車
中古車
車検・点検・修理
保険
お客様
部・用品
携帯電話
買取
クレジットカード
ファイナンス
住宅
：
：
自動車メーカー
顧客情報は各系列／各社で共有
自動車登録関係情報
国土交通省（運輸支局）
都道府県警察本部
都道府県税事務所
e-JIBAI（自賠責）
自検協（AIRAC）
登録情報はOSSで連携
（新車新規のみ）

Ⅲ．将来ビジョンに盛り込むべき事項

１．自動車関連情報の更なる利活用

○　自動車の外形的な評価に加え、ドライバーの運転特性や整備・事故履歴などの客観的データを突合できれば、より多角的な分析に基づいた車の価値の提供に期待がもてる。
　特に、特定物である中古車については、より正確な車の状態の把握が可能となり、消費者の選択の幅も広がることになる。

○　また、個々のドライバーの多様な運転特性等を類型化し、事故との相関関係を明らかにできれば、そのデータを等級に反映することで、個人のリスク実態に応じた自動車保険商品（保険料）を提供することが可能になる。
　さらに、例えば高齢者の運転特性等に対応して、事故のリスクを回避するような安全装置を装備した自動車が開発されることにより、より長く、高齢者が運転を継続できるようになることが望まれる。

２．自動車関連手続きの利用環境の向上

○　自動車保有関係手続きのワンストップサービスは、①国民負担の軽減、②販社の業務効率化、③行政手続きの迅速化－－に寄与するものであり、現在、11都府県が対象である同手続きの全国拡大、並びに継続検査も含めた手続き拡大を進めるべきと考える。
　このことにより、自動車の流通、安全に係る多様な属性情報をデータとして蓄積することが可能となることから、自動車に係る手続きは、原則、電子申請となることが望ましい。

Ⅲ．将来ビジョンに盛り込むべき事項

○　軽自動車の手続きについては、他の手続きが電子化される以上、同様に考えるべきである。

○　マイナンバー制度については、同制度を活用する場合には、現在よりも手続きが簡素化されることはもちろん、利用するために利用者側に新たな負担が生じないような制度設計が必要である。
　例えば、ワンストップサービス申請時に代理申請者が税申告書に番号を記入するだけで障害者の方の減免手続きが可能となれば、障害者手帳の提出などを省略することができる。